



# GI

プレミアム

## REPORT

### 第13回 クイーンズ クライマックス

12/26~31 ボートレース蒲郡



1周2マーク



思わず涙がこぼれた表彰式

### 初のナイター決戦で初の夏冬連覇 最強女王、遠藤エミが圧巻の強さ!!

13回を迎えるクイーンズクライマックスは、史上初のナイター開催。優勝したのは、最強女王、遠藤エミ。「前検で試運転に出た時、『めちゃくちゃいいエンジンやん』と思いました」、Sクラスの64号

機を引いた時点で、遠藤の優勝が確約されていたと言ってもいいだろう。

トライアル初戦はともに順当決着。賞金1位と2位の遠藤と三浦永理が逃げた。その1着だった二人が第2戦の枠番抽選で、ともに黄色を引き、やや波乱ムードに。

トライアル第2戦は、11Rでインの渡邊優美がスタートで立ち遅れた。海野ゆかりと平高奈菜にまくられ、平山智加に差される厳しい展開となったが、バック最内を伝って蘇り、2マークを先マイ。強力な出足と持ち前の旋回力で3艇を一気に抜き去る大逆転劇を演

#### 展示速報での採点

- 12R
- 1 遠藤 エミ ☆☆☆☆☆
  - 2 渡邊 優美 ☆☆☆☆☆
  - 3 細川 裕子 ☆☆☆☆☆★
  - 4 三浦 永理 ☆☆☆☆☆
  - 5 海野 ゆかり ☆☆☆☆☆
  - 6 平山 智加 ☆☆☆☆☆

\*当日の携帯・スマホマウールで配信したものです

トライアル初日11R						
着順	艇番	予想	選手名	進入	S T	
1	①	◎	三浦 永理	1	13	
2	②	×	浜田亜理沙	2	17	
3	④	○	平山 智加	4	13	
4	⑥		川野 芽唯	6	18	
5	③		平高 奈菜	3	13	
6	⑤	△	藤原 菜希	5	12	
2連単 ①-②		310円	1番人気	逃げ		
3連単 ①-②-④		770円	1番人気			

トライアル2日目11R						
着順	艇番	予想	選手名	進入	S T	
1	①	◎	渡邊 優美	1	23	
2	④	×	平山 智加	4	17	
3	③	○	平高 奈菜	3	13	
4	②	△	海野ゆかり	2	18	
5	⑤		三浦 永理	5	17	
失	⑥		西橋 奈未	6	19	
2連単 ①-④		340円	1番人気	抜き		
3連単 ①-④-③		1240円	3番人気			

トライアル3日目11R						
着順	艇番	予想	選手名	進入	S T	
1	③	△	細川 裕子	4	14	
2	①	○	渡邊 優美	1	21	
3	④		宇野 弥生	5	10	
4	⑤	×	三浦 永理	6	12	
5	⑥		平高 奈菜	2	22	
6	②	◎	藤原 菜希	3	20	
2連単 ③-①		1630円	6番人気	まくり		
3連単 ③-①-④		8440円	31番人気			

トライアル初日12R						
着順	艇番	予想	選手名	進入	S T	
1	①	◎	遠藤 エミ	1	11	
2	④	○	西橋 奈未	4	09	
3	③	×	細川 裕子	3	14	
4	②	△	渡邊 優美	2	17	
5	⑤		宇野 弥生	5	06	
6	⑥		海野ゆかり	6	09	
2連単 ①-④		470円	3番人気	逃げ		
3連単 ①-④-③		1300円	6番人気			

トライアル2日目12R						
着順	艇番	予想	選手名	進入	S T	
1	⑤	◎	遠藤 エミ	5	15	
2	⑥	×	藤原 菜希	6	21	
3	③		浜田亜理沙	3	20	
4	①	○	細川 裕子	1	28	
5	②		川野 芽唯	2	27	
6	④	△	宇野 弥生	4	12	
2連単 ⑤-⑥		6310円	17番人気	まくり差し		
3連単 ⑤-⑥-③		37560円	77番人気			

トライアル3日目12R						
着順	艇番	予想	選手名	進入	S T	
1	②	×	海野ゆかり	2	16	
2	①	◎	遠藤 エミ	1	11	
3	④		浜田亜理沙	4	14	
4	⑥		川野 芽唯	6	14	
5	③	○	西橋 奈未	3	12	
6	⑤	△	平山 智加	5	16	
2連単 ②-①		4720円	9番人気	差し		
3連単 ②-①-④		22950円	35番人気			

## 賞金女王決定戦

予想	艇番	選手名	F・L	モーター			今回成績		
				出	行	伸	初日	2日目	3日目
							コース・スタート		
◎	◎	① 遠藤 エミ		☆	☆	◎	① -11	① 五15	② -11
○	△	② 渡邊 優美		☆	◎	◎	④ 二17	① -23	② -21
△	○	③ 細川 裕子		◎	◎	◎	③ 三14	④ -28	① 四14
×		④ 三浦 永理		◎	○	○	① -13	⑤ 五17	④ 六12
		⑤ 海野ゆかり		○	○	○	⑥ 六09	④ 二18	① 二16
	×	⑥ 平山 智加		◎	◎	○	③ 四13	② 四17	⑥ 五16

## 結果

着順	艇番	予想	選手名	タイム	進入	S T
1	①	◎	遠藤 エミ	1.47.9	1	13
2	③	○	細川 裕子	1.49.5	3	16
3	④		三浦 永理	1.51.5	4	16
4	⑤		海野ゆかり	1.54.0	5	18
5	⑥	×	平山 智加		6	12
6	②	△	渡邊 優美		2	17
2連単 ①-③		310円	1番人気	逃げ		
3連単 ①-③-④		840円	3番人気			

一方12Rは遠藤が5コースからまくり差しで連勝ゴール。第3戦を待たずして、優勝戦進出が当確。さらに翌日の枠番抽選でも1号艇を引き当て、自身2度目の完全優勝が現実味を帯びてきた。

第3戦の11Rでは、6号艇の平高奈菜が前付けで2コースに入ると、カドから細川裕子が会心のまくりを決めて勝負駆け成功。2戦連続インからスタートで遅れた渡邊だが、ここでもうまく残して2着となり2位で優出。

12Rは絶大な人気を集めたインの遠藤がわずかにターンミス。この隙を逃さなかった海野ゆかりが2コースから差しして値千金の勝利。1着条件の勝負駆けを見事に

# GI REPORT

成功させた。遠藤は完全優勝のチャンスは失ったが、堂々のポイントトップ。この失敗を糧に万全の態勢で優勝戦に臨む。

最終日は水面コンディションが激変。強めの風が吹き、5Rから安定板が装着された。この対応に選手たちは大わらわ。日が暮れることはなく、結果、インの強さに拍車をかけた。

1R前に行われた優出インタビューでは、6号艇の平山が前付けを宣言。その言葉通り、展示から動きを見せるも誰もコースを譲らず、枠なりのオールスロー。本番も同様の並びとなり、スリット隊形はほぼ横一線。

1マークは3コースから細川が気迫のまくりを打つが、遠藤の力強い逃げを打ち破るまでには至らず、2マークを先制した遠藤が優勝を決めた。

第6回以来2回目のクイーンズクライマックス制覇を成し遂げた遠藤は、レディイスチャンピオンに続く女子のビッグレース夏冬連覇を達成。獲得賞金は8057万円となり、キャリア2番目の賞金を手にした（1位はクラシックを優勝した22年の8266万円）。

レース後の表彰セレモニーでは、一段高い位置に設置された「女王のイス」に座った遠藤が感極まり、涙するシーンも。ひととき大きな声援と拍手に包まれ、あたにかいムードで2024年の大みそか決戦は幕を閉じた。

## 我らかく戦えり—

### 細川裕子(2着)

1マークはいいターンができたと思ったんですけど、やっぱりエミちゃんがうまかった。足は良かったです。

### 三浦永理(3着)

全然合っていませんでした。安定板がついて余計にわからなくなりました。

### 海野ゆかり(4着)

序盤を思えば足に関しては上出来。やることはやった結果なので。

### 平山智加(5着)

コースはひとつでも内と思って動きました。スタートは自信を持って良いのが行けた。

### 渡邊優美(6着)

悪くはなかったです。回転が……テンションが上がり過ぎました。

シリーズ戦は当地相性抜群の勝浦真帆が優勝した。予選は6号艇で5着に敗れたが、それ以外は2連対の活躍。序盤から景気の良いコメントが飛び出し、行き足を中心に好仕上がり。4日目は3・4号艇で連勝し、2位以下に大きく差をつける得点率で予選トップを決めた。

準優勝戦はすべて①③決着。優勝戦は實森美祐や守屋美穂らA級の選手を押さえて、B1級の勝浦が1番人気に推された。その期待に応えてしっかり逃げた勝浦は、10月の当地ヴィーナズシリーズに続く優勝で、これが通算V2。1月からはA2級に初昇格するだけでなく、新期(11月)は勝率7点ペースと絶好調。前年は西橋奈未がシリーズ戦で優勝し、翌年ベスト12に駆け上った。勝浦も25年の飛躍を期待したい。

優勝した勝浦は「蒲郡での連続優勝がかかっていたので、以前よりも緊張しました。安定板がついて不安な面もあったんですけど、

## シリーズ戦 優勝戦

着順	艇番	予想	選手名	タイム	進入	ST
1	①	◎	勝浦 真帆	1.49.2	1	11
2	⑤		今井 裕梨	1.50.7	5	23
3	②	○	實森 美祐	1.52.5	2	13
4	⑥		刑部亜里紗	1.53.0	6	17
5	③	△	守屋 美穂		3	16
6	④	×	長嶋 万記		4	22
2連単 ①-⑤		1620円	6番人気	逃げ		
3連単 ①-⑤-②		4530円	17番人気			

最後は大丈夫だと思いついて行きました。24年は初優勝もできませんでした。良い流れで終えられた一年でした。25年はフライングを切らないように、常に優勝を目指して頑張ります」と笑顔で語った。

最後に初のナイター開催で注目された売上は223・4億円を記録。目標の220億円を上回り、19年の194・2億円(住之江)を大幅に超える大会レコードとなった。

## 当地好相性の勝浦真帆がシリーズ戦V 25年はベスト12入りを目指し奮闘誓う

## 獲れるレースは全部勝ちたい！ みなさんの舟券に貢献します!!

率直な今の気持ちは？  
ホッとなりました。

5日目、逃げられなかったことでのプレッシャーは？  
昨日みたいなミスをしたくないようにしっかり調整していこうと思いました。

最終日は安定板が装着されましたが、仕上がりに関しては？  
今日が一番良かったと思います。

スタートタイミングは13。  
いいのが行けたかなと思います。

1マークに関しては？  
出口の力強さがあったので、大丈夫かなと。

優勝を実感したのは？  
2マークを回ってからです。

夏冬の女子ビッグタイトル連覇は史上初。  
そこに対する気持ちはあまりないんですけど、優勝できることは嬉しいです。

25年に向けて。  
また一走一走頑張って、皆さんの舟券に貢献出来たらと思います。

2月にはスピードクイーンメモリアルが新設されます。  
タイムで行けなかったですけど、推薦をいただけたので、頑張りたいです。

一番いいと評判だった64号機を引いた時の気持ちは？

最初、良いとは知りませんでした。前検日に試運転して、めちゃくちゃ良いと感じて、これはチャンスだと思いました。

今後は女子ビッグが3冠になります。そこに対する意欲は？  
頑張りたいです。全部取りたいです！

やはり目標はグランプリ？  
その気持ちで臨めてはいなかったですね、正直。まだそこを意識して走れる力はないと思うので、目の前のレースを走って、チャンスがあるときに取れるように頑張りたいです。





クイーンズクライマックス優勝戦ベスト6



トライアルの枠番抽選はグランプリ同様、一斉方式で行われ、悲喜こもごも



シリーズ戦、力強い逃げで優勝した勝浦真帆



QC優勝戦を完走した選手には金のインゴットが贈られ、優勝した遠藤エミはなんと500g!



抽選運は抜群もスタートが課題となった渡邊優美



遠藤エミに唯一土をつけた海野ゆかり



細川裕子は地元で気を吐いた



シリーズ戦で存在感を見せた守屋美穂